

令和 6 年 1 1 月 2 0 日
全国電力関連産業労働組合総連合
壬 生 守 也

第 4 3 回原子力小委員会に対する意見

黒崎委員長ならびに事務局の皆さまには、これまでの議論を整理いただき感謝申し上げます。第 4 3 回原子力小委員会については、所要により欠席させていただくため、これまで発言してきた内容を踏まえ「原子力事業の長期的シナリオの明確化」について、以下のとおり意見提出させていただきます。

○原子力事業の長期的シナリオの明確化について

- ・ 東日本大震災以降、原子力事業の長期的シナリオが見通せないことから、発電事業者、再処理事業者、プラントメーカーや保守メンテナンス会社など、原子力産業に携わる人材の獲得・定着が極めて難しくなっている現状にあります。
- ・ 安全を大前提とした原子力事業において、プラントの運転や開発・建設による経験や技術は途絶えさせてはなりません。
- ・ 引き続き、原子力の活用を進めるにあたっては、プラントの開発・建設から運転・廃止措置、更にはバックエンドまで長期に及ぶことを踏まえ、投資・コスト回収の予見性を高める事業環境整備を図るとともに、新たな人材の育成・確保に繋がる産学官による一体となった取り組みなどが重要となります。
- ・ これら施策を後押しするためにも、エネルギー安全保障や脱炭素化において重要な電源であることなどを踏まえつつ、エネルギー政策において将来にわたって原子力を活用していくことを明確にするとともに、次世代革新炉の建設の目標量など具体的な計画を掲げ、国が前面に立って原子力政策を推し進めて頂きたい。

以 上